令和６年度

事業計画書

社会福祉法人やよい福祉会

目次

■ 事業計画 …… 1～3

■ 組織図 …… 4

■ 年間行事予定表 …… 5

■ 会議構成 …… 6

■ 委員会構成 …… 7

■ 自衛消防隊組織編制および分掌表 …… 8

■ 夜間自衛消防隊分掌 …… 9

■ 緊急時連絡網 …… 10

■ 各部署活動計画 …… 11～19

■ 各ユニット活動計画 …… 21～34

■ 各委員会活動計画 …… 35～45

基本理念

心をこめて、心をつくして、心をつたえる。

～「自分らしく生きたい」という想いを受け止めて私たちはサポートします～

心をこめて
自分を大切にすることと同じように、人の気持ちを大切にすること
真心をこめて、親切丁寧に寄り添うこと
心をつくして
誠意をもって精一杯ベストをつくすこと
心を伝える
真摯に想いを受け止め、心に寄り添い、思いやりの心を伝える

心の指針

心の指針とは、やよい福祉会の全職員が理念の実現に向けてとる基本姿勢のことです。

・笑顔であいさつします

「笑顔」「挨拶」はどちらも相手の存在を認める行為です。職員が自ら率先して「笑顔で挨拶」することは、相手に対する心をこめた行動だと考えます。

・相手の話をまっすぐ聴きます

人は想いを伝えるために話をします。自分の感情を入れず、相手の話を素直にまっすぐ受け止め、聴くことを「心をつくす」と考えます。

・自分の想いを伝え確認します

話すだけでは「自分の想い」は伝わりません。自分の想いをしっかり相手に伝わるように分かりやすい説明を心掛け、相手に想いが伝わったことを確認する姿勢を「心をつたえる」と考えます。

・「自分らしく生きたい」という想いを大切にします

入居者様の想いを受け止め、その人らしい生き方を尊重し実現できるよう私たちは生活をサポートします。

経営方針

「入居者満足」

入居者様個々の状態や意向の把握に努め、その人らしい生活ができるよう各職員が専門的な知識を活かし、協働してサービスを提供します。

「職員満足」

入居者満足の実現のために、人材育成を通じて職員一人一人の資質を向上し、働きやすい労働環境を整備します。

「経営満足」

収入の確保と支出に対するコスト意識を持ち、収支バランスがとれた透明性のある健全な法人経営を目指します。

「地域満足」

地域に開かれた施設を目指し、世のお役に立つ施設として地域貢献活動を実施します。

運営方針

- 特別養護老人ホームコアトレース厨川は、老人福祉法及び介護保険法に基づき、心身に障がいを持つ入居者様に対して、自立した日常生活を送るために必要な介護サービスを提供することを目的とします。

- 入居者様の安全と安心を確保し、入居者様のご要望にお応えできるサービス提供の実現に取り組みます。

- 介護サービスの提供にあたっては、各専門職が連携を図り、入居者様の個々の状態や意向を確実に把握し、介護支援専門員が作成したケアプランに沿って介護サービスを実施します。

- 介護をするにあたり、入居者様の基本的人権に配慮し、社会福祉法人やよい福祉会の基本理念「心をこめて、心をつくして、心をつたえる」を常に念頭に置き、理念の実現を目指します。

令和 6 年度基本方針

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指します。

仕事に対する姿勢や考え方、知識と技術の向上を目指します。

令和 6 年度重点課題

- 人を活かし人を育てる組織文化の構築

1、「信頼」できる職場環境づくりを実現するために、誠実な態度で仕事に取り組みます。
2、仕事の目的と職務を明確にし、協働することを基本姿勢として取り組みます。
3、各専門職の知識と技術を活かし、統一された介護サービスを提供します。
4、「介護の基礎知識・技術」「職務に基づいた知識」「仕事をする上での基本姿勢」3 つを主眼に置き、研修体系を整備し実施します。
5、職員一人一人の個性を理解し、共に学び成長することを喜びとします。

- 介護職員の確保

1、職員採用募集専用のホームページを活用し、採用広告を広げ募集活動を行います。
2、無資格者、未経験者、海外人材の活躍できる場の検討及び体制を整備します。

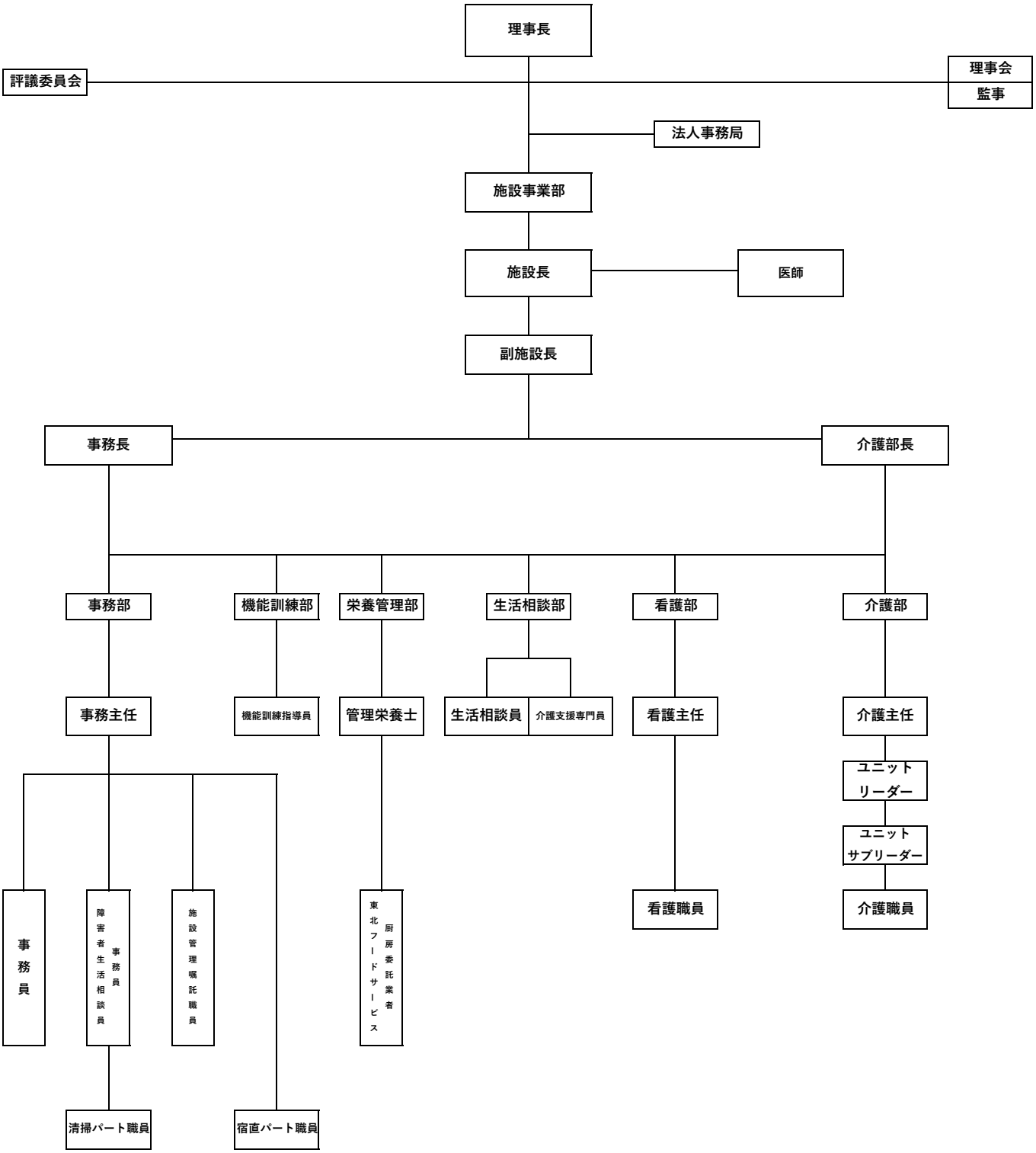
- 安心と安全な暮らしの提供

1、自然災害及び感染対策の事業継続計画(ＢＣＰ)を職員に共有し、計画に基づいた訓練と職員指導を実施します。
2、ヒューマンエラーの防止に努めます。

- 財務基盤の確保

1、稼働率 95%以上を目標とし、早期受診によって入院による空床を減らすとともに、退居から入居までの空床を減らし収入確保に努めます。
2、限られた予算の中で、無駄を省きコスト削減に努めます。
3、施設の建物移転を視野に入れ、積立資金計画を立てます。

社会福祉法人やよい福祉会
令和６年度組織図



令和6年度　　年間行事予定表　　2024/4/1　社会福祉法人　やよい福祉会

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 月	辞令交付式	1 水		1 土		1 月		1 木		1 日		1 火	開設18周年	1 金		1 日		1 水	元日	1 土		1 土	
2 火		2 木		2 日		2 火		2 金		2 月		2 水		2 土		2 月		2 木		2 日		2 日	
3 水		3 金	憲法記念日	3 月		3 水		3 土		3 火		3 木		3 日	文化の日	3 火		3 金		3 月		3 月	
4 木		4 土	みどりの日	4 火	第１回理事会	4 木		4 日		4 水		4 金		4 月	振替休日	4 水		4 土		4 火		4 火	
5 金		5 日	こどもの日	5 水		5 金		5 月		5 木		5 土		5 火		5 木		5 日		5 水		5 水	
6 土		6 月	振替休日	6 木		6 土		6 火		6 金		6 日		6 水		6 金		6 月		6 木		6 木	
7 日		7 火		7 金		7 日		7 水		7 土	敬老会	7 月		7 木		7 土		7 火		7 金		7 金	
8 月		8 水		8 土		8 月		8 木		8 日		8 火		8 金		8 日		8 水		8 土	建国記念日	8 土	
9 火		9 木		9 日		9 火		9 金		9 月		9 水		9 土		9 月		9 木		9 日		9 日	
10 水		10 金		10 月		10 水		10 土		10 火		10 木		10 日		10 火		10 金		10 月		10 月	
11 木		11 土		11 火		11 木		11 日	山の日	11 水		11 金		11 月	介護の日	11 水		11 土		11 火	建国記念日	11 火	
12 金		12 日		12 水		12 金		12 月	振替休日	12 木		12 土		12 火		12 木		12 日		12 水		12 水	
13 土		13 月		13 木		13 土		13 火		13 金		13 日		13 水		13 金		13 月	成人の日	13 木		13 木	
14 日		14 火		14 金		14 日		14 水		14 土		14 月	スポーツの日	14 木		14 土		14 火		14 金		14 金	
15 月		15 水		15 土		15 月	海の日	15 木		15 日	老人の日	15 火		15 金		15 日		15 水		15 土		15 土	
16 火		16 木		16 日		16 火		16 金		16 月	敬老の日	16 水		16 土		16 月		16 木		16 日		16 日	
17 水		17 金		17 月		17 水		17 土		17 火		17 木		17 日		17 火		17 金		17 月		17 月	
18 木		18 土		18 火	入居者様健康診断	18 木		18 日		18 水		18 金	月次会計	18 月		18 水		18 土		18 火		18 火	
19 金	月次会計	19 日		19 水	月次会計	19 金	月次会計	19 月		19 木		19 土	秋祭り	19 火		19 木		19 日		19 水		19 水	月次会計
20 土		20 月	月次会計	20 木	第１回評議員会	20 土		20 火	月次会計	20 金	月次会計	20 日		20 水	月次会計	20 金	月次会計	20 月	月次会計	20 木	月次会計	20 木	春分の日
21 日		21 火	職員健康診断	21 金		21 日		21 水		21 土		21 月		21 木		21 土		21 火		21 金		21 金	
22 月		22 水		22 土		22 月		22 木		22 日	秋分の日	22 火		22 金		22 日		22 水		22 土		22 土	
23 火		23 木	監事監査	23 日		23 火		23 金		23 月	振替休日	23 水		23 土	勤労感謝の日	23 月		23 木		23 日	天皇誕生日	23 日	
24 水		24 金		24 月		24 水		24 土		24 火		24 木		24 日		24 火		24 金		24 月	振替休日	24 月	
25 木		25 土		25 火		25 木		25 日		25 水		25 金		25 月		25 水	クリスマス会	25 土		25 火		25 火	第３回理事会
26 金		26 日		26 水		26 金		26 月		26 木		26 土		26 火	第２回理事会	26 木		26 日		26 水		26 水	
27 土		27 月		27 木		27 土		27 火		27 金		27 日		27 水		27 金		27 月		27 木		27 木	
28 日		28 火		28 金	資産登記	28 日		28 水		28 土		28 月		28 木		28 土		28 火		28 金		28 金	
29 月	昭和の日	29 水		29 土		29 月		29 木		29 日		29 火		29 金		29 日		29 水				29 土	
30 火		30 木		30 日		30 火		30 金		30 月		30 水		30 土		30 月		30 木				30 日	
		31 金				31 水		31 土				31 木	監事監査			31 火		31 金				31 月	

社会福祉法人やよい 福祉会
令和6年度会議構成

経営会議

【目的】 理事会での事業計画、予算等の決定を受けて経営業務を遂行する。
【検討内容】 経営状況と業務進捗状況を把握し、経営方針を決定する。
【議長】 施設長
【副議長】 副施設長
【議事録】 交代制
【司会進行】 事務長
【出席者】 施設長・副施設長・事務長・介護部長・事務主任・介護主任
【開催頻度】 月1回・随時開催/毎月第1週月曜日～金曜日の期間に開催

サービス向上会議

【目的】 施設サービスの向上について課題を抽出し、改善する。
【検討内容】 経営会議・各部会議と連携を図り、施設サービスにおける様々な問題を把握し、課題解決について対策を考案する。
【議長】 事務長
【副議長】 看護主任
【議事録】 交代制
【司会進行】 事務長
【出席者】 副施設長・事務長・介護部長・看護主任・介護主任・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士・機能訓練指導員・ユニットリーダー（不在時はサブリーダー）
【開催頻度】 月1回定時開催/経営会議終了後、第1月曜日～金曜日の期間に開催

リーダー会議

【目的】 上位会議での決定事項を踏まえ、全ユニットの情報を共有し、ケアの向上と課題解決に努める。
【検討内容】 介護現場で起きている様々な課題について、リーダーの意見を吸い上げ、質の高いケアの追求と統一を図る。
【議長】 リーダー
【副議長】 介護主任
【議事録】 介護主任
【司会進行】 リーダー
【出席者】 副施設長・介護部長・介護主任・リーダー（不在時はサブリーダー）
【開催頻度】 月1回定時開催/サービス向上終了後、第2金曜日

ケア会議

【目的】 上位会議での決定事項を踏まえ、介護と看護のケア方針の統一を図り、課題解決に向けて対策を考案する。
【検討内容】 ケア課題を抽出し、専門職の知識と経験を活かし、質の高いケアの向上に努める。
【議長】 介護主任
【副議長】 看護主任
【議事録】 交代制
【司会進行】 介護主任
【出席者】 事務長・介護部長・看護主任・介護主任・看護師・ケアマネ・生活相談員・管理栄養士・機能訓練指導員
【開催頻度】 月1回定時開催/サービス向上会議終了後、第2水曜日

ユニット会議

【目的】 入居者様の安全を守り、安心して過ごすことのできる介護の実現に向けて改善を図る。
【検討内容】 介護職員と専門職が一体となり、ユニットの課題解決に向けて検討し、より質の高いケアを目指し実践する。
【議長】 ユニットリーダー
【副議長】 ユニットサブリーダー
【議事録】 交代制
【司会進行】 交代制
【出席者】 ユニット職員・介護部長・介護主任・生活相談員・ケアマネ・看護師・管理栄養士・機能訓練指導員
【開催頻度】 月1回開催/もえぎ第3木曜、やまぶき第3金曜、もくらん第4月
【開催頻度】 しょうぶ第4水曜、つつじ第4木曜、ときわ：第4金曜

入居判定会議

【目的】 入居申込み状況を把握し、スムーズな入居に繋げる。
【検討内容】 次期入居者様の選定を行う。世の中の動向を踏まえ、入居申込者の獲得に向けた検討課題について考案する。
【議長】
【副議長】
【議事録】 生活相談員
【司会進行】
【出席者】 施設長・副施設長・介護部長・介護主任・生活相談員・ケアマネ・看護主任・管理栄養士
【開催頻度】 月1定時開催/ケア会議終了後同日開催、第2水曜日

※看護部会議・事務部会議は、必要に応じて開催する。開催については、所属長の判断により実施。

社会福祉法人やよい福祉会　令和６年度委員会構成

委員会名	活動役割
環境感染管理委員会	日常生活において感染防止に努め、感染症発生時の体制を整える。マニュアルを整備し、全職員が対応できるよう周知徹底する。入居者様の生活環境の見直しを行い、清潔な環境と安心した生活を送ることができるよう、課題解決に向けて検討する。
身体拘束・虐待防止・リスク委員会	職員の安全に対する意識向上と、入居者様の安全を確保する対策を検討する。介護事故・ヒヤリハットの対応方法と防止策を考案し、事故記録表を改善する。身体拘束の廃止に努め、虐待防止に向けて職員に周知徹底する。
排泄・褥瘡対策委員会	取り扱い方法をルール化し、ケアの見直し、実施状況の確認を行い、適正な排泄ケアの改善に努める。褥瘡の記録と経過観察を行い、予防策を考案し褥瘡ゼロを目指す。
給食委員会	食事の摂取状況や嚥下状況に応じて対応方法を考案し、安全でおいしい食事を提供できるよう取り組む。衛生管理と感染防止に向けて食事環境整備を実施する。
防災委員会	火災・水害訓練の実施と訓練内容の振返りを行い、改善を図る。防災設備点検、BCP策定・見直しを行い、有事の体制を整備する。
医療的ケア委員会	喀痰吸引の資格取得者を増やし、医療的ケアにおける技術向上を図り、育成する。
苦情解決委員会	入居者様とご家族の信頼に応えるサービスが提供できるよう、苦情解決に向けて誠実で迅速な対応と適切に苦情解決ができるよう実施する。
キャリアパス委員会	新人職員、中途採用職員を含め、全介護職員の育成に向けて、育成制度の構築、実施状況の確認を実施する。育成手順書・マニュアルを作成しルール化する。
衛生委員会	職員の健康診断、ストレスチェックを実施する。必要に応じて助言指導を行い、職員の心身における健康と安全を確保し、快適な職場環境の形成を促進する。

令和６年度　自衛消防隊組織編成及び分掌

自衛消防隊長（施設長　久保　文雄）

自衛消防副隊長（副施設長　庄子　直子）

防火管理者　土橋　修

分　担	責任者	隊　員	任務
通信連絡班	新井田智成	葛岡祥	①消防機関へ通報、施設内への周知 ②被害状況及び災害情報の把握 ③市警戒本部、警察署との連絡
消火工作班	牛﨑　拓	久保　拓海 齋藤正治	①ガスの元栓を遮断 ②施設内に設置の消火器による初期消火 ③屋内消火栓による初期消火
避難誘導班	田中　勇矢	工藤遥香　千葉明香 高山萌果　牛﨑美由紀 下河原久美子　柳本絵里 田中真美　長山瞳 工藤美保　久保静華 大宮飛鳥　佐々木絢乃 小野陽大　佐々木温代 松枝大晃　齋藤達矢 山崎沙菜恵　廣田莉果 羽沢成美　髙瀬由美子 吉田夏美　藤田拓海 杉村然子　藤澤美唄 松原瑞穂　鈴木真貴子 佐藤陽	①入居者の避難誘導及び不明者の捜索 ②消防隊の誘導、障害物の除去 ③避難設備の管理に関する事 ④食料、飲料水、応急復旧資材等の確保 ⑤炊き出しおよび飲料水の供給
安全防護班	土橋　修	北舘　利章	①建物内外の危険物の除去 ②火気使用器具（ボイラー等）の点検 ③飛び火の警戒 ④エレベーターの非常時措置 ⑤排煙口の点検
搬出班	谷地　純子	工藤　真弓 関本　久美子	①重要書類等の搬出 ②搬出物の保全
救護班	藤田ミ子	佐藤雅代 吉田和子	①救護所の設置 ②負傷者の応急手当、救急隊への連絡、病院等への移送

令和6年度　夜間自衛消防隊分掌

火災報知器作動

自動火災連動装置の作動

事務所内
「赤い電話」
に入電

宿直

火災報知盤で出火場所確認

消火器を持ち火災現場の確認

- 出火なし
  - 夜勤Fと現場確認
  - 現場確認、出火見られず誤報の可能性が高いことを知らせる
- **出火確認**
  - 初期消火 消火器 屋内消火栓
    - 鎮火
    - 天井まで延焼
      - 消防に報告
      - 事務室に戻り夜勤Fに状況を伝える
      - 連絡網にて職員招集
      - 館内放送避難誘導指示
      - 地域職員・地域住民が駆け付けた時に、それぞれに避難誘導に入るよう振り分ける。2階・3階

消防へ連絡

夜勤フリー

事務所内火災報知盤を確認

事務所内 **赤い電話** に出る

火災報知盤では、○○階の反応が出ております。現在確認中です

宿直者より状況を確認

- 出火なし
  - 宿直者と現場確認
- **出火延焼**
  - 消防署に状況報告

2階夜勤者

フロアの入居者の状況を確認

- 出火なし
- 2階で出火
- 1・3階で出火

フロアの入居者の状況確認

初期宿直者消火開始

避難誘導準備

初期消火失敗 避難誘導開始

3階夜勤者

フロアの入居者の状況を確認

- 出火なし
- 3階で出火
- 1・2階で出火

フロアの入居者の状況確認

初期宿直者消火開始

避難誘導準備

初期消火失敗 避難誘導開始

地域職員

協力要請

緊急出動

地域住民

協力要請

緊急出動

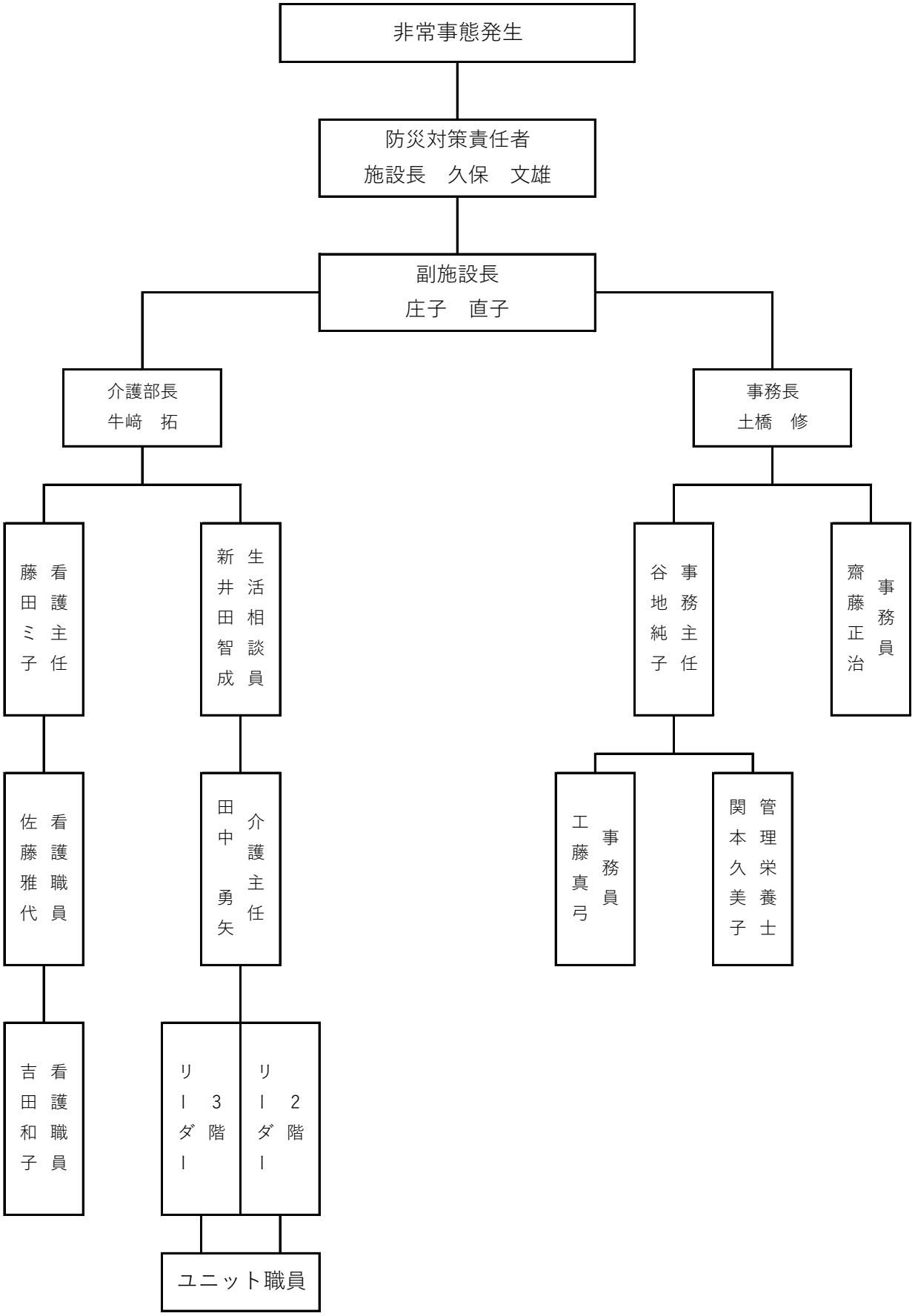
宿直者より指示を受け避難誘導に入る

避難誘導開始

2・3階入居者は火元から離れたユニットへ避難誘導

避難経路図別紙【避難経路図参照】

令和6年度　緊急時連絡網



各 部 署 活 動 計 画

令和６年度活動計画書

部署名	法人事務局	実行責任者	庄子　直子	作成日	令和 6 年 3 月 1 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　令和 5 年度事業報告・決算報告 必要に応じて各種規程の改定案を作成する。	理事・評議委員よりいただいた助言を元に、施設運営方針を検討、改善を図る。
②　令和 5 年度決算報告 ③　令和 6 年上半期会計報告	監事よりいただいた助言を踏まえ、収支バランスのとれた健全な資金運用を実施する。

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	法人事務局員	理事会にて提案・報告	6 月理事会	
②	法人事務局員	評議委員会にて提案・報告	6 月評議委員会	
③	会計責任者	監事監査にて報告	5 月・10 月 監事監査	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
理事会	6 月・11 月・3 月
評議委員会	6 月
監事監査	5 月・10 月

令和６年度活動計画書

部署名	事務部	実行責任者	土橋修	作成日	令和６年２月２０日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　目的、内容、期限を確認して確認・共有して仕事に取り組む。	「信頼」できる職場環境づくりを実現するために誠実な態度で仕事に取り組むことを実現する。
②　お互いの職務を理解するように努め、共同する。	仕事の目的と職務を明確にし、共同して働くことを基本姿勢として取り組むことを実現する

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	事務部職員	目的・内容・期限を確認して仕事に取り組む。		
②	事務部職員	お互いの仕事量・進捗状況を確認し、状況に応じて協力して仕事を進める。		

【年間予定】

業務予定	実施時期
○辞令交付式	４月
○自動車税課税免除申請（岩手県）	５月
○賞与計算・支給、賞与支払い届 ○賞与積立満期手続き○労働保険年度更新手続き・支払い○助成金申請確認○資産登記○現況報告	６月
○処遇改善加算実績報告書提出 ○盛岡市指導監査（令和６年度実施予定年度）	７月
○第一次補正予算所作成・福祉医療機構利息支払い ○車両保険手続き	９月
○労働保険支払い（第２期） ○キャリアアップ助成金申請（正規雇用転換）	１０月

○上半期決算○年末調整手続き○ふるさと融資返済 ○障害者助成金申請	１１月
○年末調整処理○賞与計算・支払い、賞与支払い届 ○特定業務健診○ストレスチェック	１２月
○法定調書提出（電子）○給与支払い届提出 ○労働保険支払い（第３期）	１月
○新年度予算・事業計画作成○次年度雇用契約書準備 ○第２次補正予算作成○福祉医療機構残高証明書請求 ○助成金申請確認○処遇改善加算計画提出 ○介護給付費算定体制届出（２か月前）	２月
○福祉医療機構及び民間協調融資の借入返済 ○下半期決算・業者見積提出○消耗品・物品棚卸 ○期末手当計算○公園占拠許可申請 ○固定資産管理○職員雇用契約 ○借入・修繕・賞与積立満期手続き（理事会後） ○３６協定・変形労働届出 ○次年度年次有給休暇管理 ○採用職員、退職職員関連手続き（職員台帳管理、雇用契約書、社会保険、雇用保険手続き、住民税手続き、退職共済手続き、マイナンバー破棄） ○事業所届	３月

令和６年度活動計画書

部署名	介護部	実行責任者	田中　勇矢	作成日	令和 6 年 2 月 18 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　介護サービスを細分化し、それぞれの水準を分かりやすい形にする。	自施設の介護サービスの水準を見直し共有することで、職員の成長目標を明確にする。
②　定めた水準を各職員単位で満たせるよう、育成制度を構築する。	キャリアパス委員会と介護部との勉強会や職員研修を開催し、介護の質の向上、多職種連携の強化を狙う。
③　入居者様個々の要望に応えるための取り組みを検討・実施する。	理念に掲げる「自分らしく生きたい」という想いの実現のため、取り組むための流れや検討の場を設けたい。
④　相互成長につながる人員配置を検討する。	・長所を活かせる ・仕事に対する「やりがい」を感じられる ・相互に意見を遠慮なく交換できる
⑤　家族様との関わりや情報共有の場を、自施設の現状や感染症対策を考慮した上で検討・実施する。	ご家族様との連携強化。

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	介護主任	・　介護サービスの細分化 ・　細分化したサービスごとの手順や求めるレベルを設定 ・　施設長、多職種、リーダーへ提案。多職種との連携など意見を踏まえ修正、すり合わせ	令和 6 年度前期中に	

		る ・ 自施設の基準を設定		
②	介護主任	・ キャリアパス委員会と研修を調整し、介護サービスの見直しを行う	令和 6 年度全体を通し実施 ※他委員会の研修や大型行事が無い月は勉強会や研修を設けていく	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
リーダー会議	毎月
ケア検討会	随時

令和６年度活動計画書

部署名	看護部	実行責任者	藤田ミ子	作成日	令和 6 年 2 月 22 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　職員間の連携、協同により情報共有を行う	情報共有を図り利用者様の健康、安全管理を行う
②　医療機関、ご家族様、多職種と連携を図る	業務の適正化、効率化を図る。 各機関、ご家族様、職員間の信頼関係を構築する。

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	看護職員	定期採血、健康診断、受診多職種との意見交換、状態観察を行う	常時	
②	看護職員	・　各機関に情報提供、連絡相談 ・　ご家族、多職種と情報の共有、状態説明を行う	常時	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
定期採血（毎月）、インフルエンザ予防接種（11 月） コロナワクチン接種（随時）	毎月
定期受診	適宜
赤坂病院回診	月 4 回
ひめかみ病院	月 2 回
入居者健康診断	5 月
インフルエンザワクチン接種	11 月
新型コロナワクチン接種	随時

令和６年度活動計画書

部署名	生活相談部	実行責任者	新井田智成	作成日	令和 6 年 2 月 23 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
① 入居者様やご家族様の想いを大切にし、生活に反映できるように努める。	「自分らしく生きたい」という想いに寄り添い、他部署間で連携を図る。
② 長･短期利用率 95%以上を目標とし、入退居、入退院援助を円滑に行う	入退居、入退院による空床を減らし、収入の安定を図る。

【具体的行動計画（実践するために何をするか)】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	介護支援専門員 相談員	入居者様、ご家族様の想いを聞き多職種と情報共有する	適宜	
②	相談員	定期的な状況確認 他事業所、病院への営業	適宜	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
入居判定会（内部）	毎月
入居判定会（第三者含む）	７月、１１月、３月
カンファレンス	適宜
入居者様満足度調査	１２月～１月
ご家族様満足度調査	１２月～１月
介護の日	未定

令和６年度活動計画書

部署名	栄養管理部	実行責任者	関本　久美子	作成日	令和 6 年 2 月 22 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　入居者様の個々のニーズに合わせた食事を提供する	・　理念の「自分らしく」の実現 ・　多職種連携し栄養マネジメントの実行 ・　厨房職員の嚥下調整食への知識、技術レベルアップ
②　入居者様に安心安全な食事を、美味しく楽しく召し上がっていただく	・　食事に関する衛生管理の徹底 ・　当施設のユニットケア、介護手順を多職種共有

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	管理栄養士 ケアマネ　他	食事に関する課題が挙がった際は、速やかに、関係職種で集まり、方向性を決定、実施する。	随時	
②	管理栄養士	厨房会議を実施し、入居者様の状態、適する嚥下調整食の共通理解を図る。	偶数月	
③	管理栄養士	サービス向上会議、給食委員会で食事の介護手順とその根拠への共通理解を深める。	随時	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
・厨房会議、給食委員会	偶数月
・行事食	毎月
・給食従事者研修	春・秋

令和６年度活動計画書

部署名	機能訓練部	実行責任者	細谷　貴久	作成日	令和 6 年 2 月 27 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　個別機能訓練の実施	QOL の維持を目的に計画の立案・訓練の実施を行い、心身機能の維持・向上を進めて行く
②　生活リハビリの見守り	ユニット内で生活リハビリの実施・記録が円滑に行える様に立案やサポートをしていく
③　個別機能訓練計画書・生活機能チェックシートの定期的な作成	個別機能訓練加算Ⅱが算定できる様に定期的に計画書・チェックシートを作成していく
④　姿勢やポジショニングを必要に応じて伝達・確認を行う	臥位・座位姿勢や食事場面で安楽な姿勢等を検討して他部署と情報共有を行う

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	機能訓練指導員	入居者様に対し週1～2回目的に沿った運動を実施	毎週	
②	機能訓練指導員	記録漏れがないかの確認等	月 2 回	
③	機能訓練指導員	提出の為定期的に見直しを行ってく	3 ヶ月毎	
④	機能訓練指導員	ユニット会議や情報交換時に話題に上がった時は優先的に対応していく	随時	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
散歩	温かい時期に希望に沿って施設周りで実施
ミニトマト栽培	6 月以降参加者を募り実施

各ユニット活動計画

令和６年度活動計画書

ユニット名	もえぎ	実行責任者	工藤　遥香	作成日	令和 6 年 2 月 14 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　職員の長所を活かし職員一人ひとりが成長できるユニットを目指す	・　職員それぞれの長所を活かし、ケアに繋げる為。 ・　誰かに頼るだけでなく、自分で考え行動ようにする。
②　入居者様の想いを汲み取り、『ここにいたい』と思える環境作り	・　入居者様、ご家族様の想いを汲み取り、その方が望んでいる暮らしを実現していく。 ・　季節や希望に応じて設えの変更を検討する。 ・　入居者様に合わせ定期的に業務の見直しを行っていく。
③　職員間・他部署と情報を共有し、日々の気づきをケアに活かす	・　職員一人ひとりが当たり前に確実に行動に移すようにする為。 ・　職員間・他部署ともに些細な事も情報共有する。

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	ユニット職員（リーダー・サブが率先する）	・　自分の長所は何か自己分析する。（目標管理シートを基に実践する）また、得意分野もケア・行事に活かしていく。 ・　自分の考え（意見や疑問・提案など）を伝えられるようにする。	9 月	
②	ユニット職員	・　入居者様の『想い』『願	適宜	

	他部署	い』『やりたい事』などケアを通しながら伺い・見つけ取り入れていく。 ・ 定期的に入居者様、四季に応じた設えを考えていく。 ・ 必要に応じた物品の購入（家具など） ・ ２４時間シートにも『その方の暮らし』（以前までの暮らしも参考にする）反映していく。		
③	ユニット職員 他部署	・ 些細な事でもその都度相談・報告・連絡を行う。職員間の情報共有も口頭・申し送りノート・メルタスなど活用し実施していく。また、ご家族様にも入居者様の様子をお伝えしていく。 ・ 24 時間シートの更新	適宜	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
ユニット会議	月１回
誕生会	該当月
おやつ作り・季節の行事	月１回　※季節行事は該当月
外出	年２回（花見ドライブ・紅葉ドライブ）
設えの見直し	適宜

令和６年度活動計画書

ユニット名	やまぶき	実行責任者	田中　真美	作成日	令和 6 年 2 月 18 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　意見を出しやすい環境づくりを全員でする	入居者様のニーズに応じていけるよう、入居者様を主体として、職員それぞれの長所を活かし、より良いケアに繋げるために話し合う。「誰もが意見を出しやすい環境」を全員が意識して作る。
②　長所を活かしたユニットにする	長所を伸ばすことで短所を補う力も身につけていくことを目指す。
③　入居者様の「したい」、家族様の「してあげたい」、職員の「やってみたい」を実現できるユニットにする	叶えてあげられないことのほうが多いかもしれないが、難しくても、まずは職員全員で考えて、実現できるように取り組む。

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	ユニット職員とリーダー	面談し長所の確認と現状の整理をする（ユニットの他職員の長所も確認する）	半年に１回	
②	ユニット職員	気づきは恐れず発言する	常時	
③	ユニット職員	「お疲れ様」「行ってきます」「(ユニットへ戻ってきたら) おかえりなさい」「ありがとう」「お願いします」日頃から職員同士が声を掛け合う	常時	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
ユニット会議	月１回
おやつ作り、レクリエーション、誕生日会、季節行事	月１回～
面談	半年に１回

令和６年度活動計画書

ユニット名	もくらん	実行責任者	山崎　沙菜恵	作成日	令和６年３月１日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。
仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。
学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　入居者様が安らげる居心地の良い環境をつくる	・　設えや環境から居心地が良いと感じることができる ・　リスク面に配慮した環境をつくることができる ・　入居者様同士の関係性に配慮することで自分らしい生活を送ることができる ・　職員一人一人がユニットは入居者様の生活の場であるという意識を持つことができる
②　入居者様・ご家族様の想いを汲み取り、生活に楽しみやはりあいを持っていただけるユニットを目指す	・　「～したい」、「～食べたい」という想いを汲み取り、どのようにしたら良いかを考え取り組むことでケアに反映していくことができる ・　意向はその時々で変わるかもしれないが、入居者様・ご家族様にアプローチしていくことで好みや意向といった本人らしさの理解につなげることができる

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	ユニット職員	・　入居者様の状態や関係性に配慮する ・　生活動線と安全面に配慮した環境をつくる	適宜	
③	ユニット職員、他部署	・　日々のコミュニケーションから想いを汲	適宜	

		み取り、本人らしさの理解に努める ・ 面会や手紙で変化があったことの報告だけでなく、日々の気づきを共有し、ご家族の意向を汲み取れるようにしていく		

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
ユニット会議	毎月
誕生会	該当月
季節行事・おやつ作り等	月１回
設えの見直し	適宜

令和６年度活動計画書

ユニット名	しょうぶ	実行責任者	久保　静華	作成日	令和 6 年 2 月 19 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　入居者様が「自分らしい生活」を送れるような環境作りをする。	・　最後を迎える日まで思いや希望を大事にし、その人らしい生活が送れるようにサポートしていく。 ・　入居者様に合わせた余暇活動に取り組む。 ・　居心地の良い場所と思ってもらえるような設えを考える。 ・　入居者様同士の関係性やリスク面を考える。
②　職員が一人ひとり自分の考えを持ち「伝える・発信する」ことができるユニットにする。	・　日々の変化を見逃さないよう、情報の発信や気づきを大切にする。 ・　お互いに自信を持ち自分の考えが伝えられる環境を作る。
③　ユニット職員間、他部署との情報共有を密に行う。	・　些細なことでも共有する。 ・　ケース記録を分かりやすく、細かく入力する。 ・　他部署との情報共有を密に行う。

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	ユニット職員	・　コミュニケーションを図り入居者様の理解を深める。	常時	
②	ユニット職員	・　お互いの考えや日々の変化を共有する。	常時	
③	ユニット職員・他部署	・　ユニット会議を通し情報共有・意見を発信する。 ・　変化や家族様への依	月１回 常時	

		頼を申し送り共有する。		

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
ユニット会議	月１回
誕生会	誕生月
おやつ作り・季節行事	月１回
外出	花見・紅葉時期、希望時
設えの見直し	適宜

令和６年度活動計画書

ユニット名	つつじ	実行責任者	高瀬由美子	作成日	令和 6 年 2 月 11 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
① 入居者様、家族様との「対話」を通し「想い」を引き出す。また、家族様との信頼関係を築いていく。	・ 「対話」をし、受け持ち入居者様のニーズを把握し、ケアに組み込むことが出来る ・ コロナ禍でなかなか会えない家族様の「想い」もケアに反映することが出来る ・ 毎月の家族様への手紙の内容を充実させることが出来る ・ 入居者様のささいな変化も家族様と共有する事で、相談しやすい関係性を築くことが出来る
② ユニット内、他部署との情報共有を図る。	・ 日々の変化に早く気づくことが出来る ・ 他部署との連携を図る事が出来る ・ 報連相が身につく ・ 人に情報を「伝える力」「聴く力」「情報をまとめる力」が身につく ・ ケース記録の内容が、第三者が見て伝わる文章作成出来るようになる
③ 入居者様が安心安全に生活できる空間を作る。	・ 入居者様の状態や関係性を考える事が出来る ・ リスク面にも気を配る事が出来る

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	ユニット職員	・ コミュニケーションを通して汲み取っていく ・ 家族様との面会時、些細な変化も伝えていく ・ 家族様への手紙で最近	適宜 面会時 毎月	

		の様子を多く伝えていく		
②	ユニット職員 他部署	・ ユニット会議を通して情報共有し、お互いに意見を交換出来る場にする ・ 24H シートに落とし込んでいく ・ 職員同士の普段の何気ない会話も大切にしていく ・ 自分の意見を持ちながらも他人の意見にも耳を傾ける意識をする	毎月 1 回 適宜 適宜 適宜	
③	ユニット職員	・ 入居者様の状態や関係性に合わせて、安心して生活できる環境を整える	適宜	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
ユニット会議	月 1 回
誕生日会	該当月
外出	年に 2～3 回
イベント	適宜

令和６年度活動計画書

ユニット名	ときわ	実行責任者	久保　拓海	作成日	令和６年３月４日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　入居者様の思いに気付き、何か出来ることはないかを職員一人一人が考え、意見を出し、思いの実現に向けてチームで動く。	・　入居者様の思いを汲み取る力、それを共有し実現に向けて一歩動き出す力をつけていく。 ・　叶えられた思いから、職員一人一人の自信につなげ、実現出来る幅を広げたい。 ・　入居者様にいつまでも自分らしさを忘れずに過ごしていただきたい。 ・　誰かの意見を否定することなく、色々な視点からの意見があることを認め、受け止める。
②　「得意」、「不得意」と向き合いながら、自分の出来る目標を設定する。 他者の「得意」、「不得意」にも目を向け、「得意」を活かせる場所作り、「不得意」を認め、「やりたくない」から「やってみたい」に繋がる指導やサポートをする。	・　「出来た」、「出来ない」ではなく、取り組んだことを一番初めに評価する。 ・　「得意」を活かした役割を見つけ、モチベーションを維持して仕事が出来る。 ・　他職員を知るきっかけを作りたい。 ・　悪いところばかり見るのではなく、良い部分を自然に発見出来る。 ・　「達成出来た」ことを皆で喜びながら、成功体験や学びにつなげたい。 ・　誰かの「得意」が誰かの「不得意」を支え、助けることが出来る、補い合うことの大切さを知る。

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	リーダー、サブリーダー	・ 否定から入らずに他者の意見を聞く ・ ユニット職員から出た意見を多職種へ発信出来るようにフォローする ・ 他者が相談しやすい姿勢を作る	常時	
②	ユニット職員	・ 気付きを発信し、他者の意見もしっかり受け取る	常時	
③	ユニット職員	・ 相手に合わせた伝え方、聴き方を意識する	常時	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
ユニット会議	月１回
誕生会	該当月
おやつ作り、外出、出前	入居者様の希望に合わせて行う

委 員 会 活 動 計 画

令和６年度活動計画書

委員会	身体拘束・虐待防止・リスクマネジメント委員会	実行責任者	田中　勇矢	作成日	令和 6 年 2 月 18 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　虐待防止の規定を施設職員が知り、発生しないよう取り組む	施設内で虐待が発生しないよう、職員の知識や考え方を学ぶ場を整えていく
②　身体拘束によるデメリットを理解し、身体拘束以外の手段でケアを考えられる職員を育成していく	施設内で身体拘束が発生しないよう、あるいは不可避な理由で実施している場合には代替手段で身体拘束を解除できるよう検討や勉強会の場を設ける
③　施設内の介護事故の扱いを振り返り、振り返りまでの流れを見直す	介護事故を完璧に防ぐことはできないが、発生した事故は必ず振り返り、同様事故が発生しないよう検討する。また、ご家族様との情報共有にも努め、事故後のトラブルへ発展しないような流れを検討する

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	リスク委員	勉強会を企画、実行	年二回	定期的な勉強会を開催し、自施設において虐待・身体拘束の防止を行う
②	リスク委員	昨年度事故集計を取り、分析	年始(4～5 月)	昨年度の事故件数、傾向を確認し、今後の対策に活かす
③	リスク委員	他部署と検討	令和 6 年度前期中	自施設における事故とヒヤリハットの定義を見直す

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
委員会の定期開催	毎月
勉強会の企画、開催	9～10 月、2～3 月の 2 回

令和６年度活動計画書

委員会	環境感染管理委員会	実行責任者	藤田　ミ子	作成日	令和 6 年 2 月 22 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　職員へ感染症の研修を行い周知する ②　職員の体調不良を把握、出勤の調整お継続する	感染症の発生を防止する
③　ノロウイルス、インフルエンザ感染マニュアル作成する ④　ご家族様へ感染防止についてご理解とご協力を得る	感染症発生時に迅速に対応できるようにする

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	看護職員	講習、座学	11 月	
②	看護職員、相談、事務部	感染リスクの判断と共有	随時	
③	看護職員	エビデンスに基づいて行う	12 月	
④	対応職員	その時の感染状況に合う内容を施設内で共有して行う	随時	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
委員会	月 1 回

令和６年度活動計画書

委員会	排泄褥瘡対策委員会	実行責任者	牛﨑拓	作成日	令和 6 年 2 月 15 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
① 皮膚トラブルの原因を分析し、褥瘡の発生を未然に防ぐ	前年度よりも褥瘡の発生を減少させ、入居者に快適な生活を提供する
② 入居者個別に合わせた排泄ケアの最適化	入居者の個別ニーズを捉えつつ、不快のない排泄ケアを提供する

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	委員	・ 委員会にて褥瘡発生リスクが高い入居者を抽出する	5 月	
		・ 高リスクの入居者に対し、褥瘡発生予防策を立てる	6 月	
		・ 以降、毎月の委員会に合わせて評価を行う		
	外部講師 委員	・ 褥瘡対策勉強会にて最新の褥瘡対策を学ぶ	7 月	
②	委員	・ 困難事例について検討		
	委員 居室担当	・ 個別の排泄に対するニーズを把握し、排泄ケアの見直しを行う	7 月、12 月	
	マイスター1 級取得者	・ 排泄ケア勉強会にて、事例発表	9 月	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
委員会の開催	月 1 回
褥瘡対策勉強会	7 月
排泄ケア勉強会	9 月

令和６年度活動計画書

委員会	給食委員会	実行責任者	関本　久美子	作成日	令和 6 年 2 月 22 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　入居者様に安心安全で美味しく食事を召し上がっていただく	・　入居者様の摂食機能に合わせた食形態、食事介助、食事環境について考案し、共有する ・　衛生管理、感染症防止
②　入居者様が自分らしい食生活を実現できる	・　職員１人ひとりが、入居者様のニーズを考えながら行動し、心遣いができる

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	委員長 給食委員	・　委員会で、各ユニットで実施している食事環境の工夫を発表し共有する	偶数月	
②	管理栄養士 介護職員 相談部	・　担当入居者様のニーズを把握。24Ｈシートに盛り込み、実施。 ・　食べたいものを可能な限り叶える	随時 随時 （誕生月など）	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
給食委員会	偶数月
衛生チェック	偶数月
嗜好調査	年１回（２月）
残食調査	毎食

令和６年度活動計画書

委員会	防災委員会	実行責任者	土橋修	作成日	令和 6 年 2 月 20 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　災害訓練の実施	訓練の実施・振り返り・改善を行い災害発生時に備える。
②　防災設備の点検	設備の点検を行い、減災につなげる。
③　BCP の周知・訓練の実施	訓練の実施・振り返り・改善を行い災害発生後の事業継続に活かす

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	委員会	訓練計画を作成し実施		
②	委員会	定期的に		
③	委員会	訓練計画を作成し実施		

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
火災訓練（日中想定）	5 月
委員会	5 月　火災訓練振り返り
水害訓練（BCP 研修含む）	7 月
委員会	7 月　水害訓練振り返り
委員会	9 月　１０月訓練の計画
火災訓練（夜間想定）	１０月
委員会	１１月
委員会	1 月
委員会	3 月　年度の振返り、次年度計画

令和６年度活動計画書

委員会	医療的ケア委員会	実行責任者	藤田　ミ子	作成日	令和 6 年 2 月 22 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　有資格者の増員のために、「医療的ケア」研修参加への環境整備をする	利用者様の健康維持に努める 喀痰吸引により利用者様の苦痛緩和を図る 職員のスキルアップを図る
②　有資格者の技術確認、利用者様の健康観察を行う	安全な業務の確認、利用者様の健康維持

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	介護職員	医療的ケア研修へ参加する	今年度内	
②	看護職員	・　実演 ・　胃瘻部の皮膚状態、痰がらみの有無	随時 常時	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
委員会	隔月

令和６年度活動計画書

委員会	苦情解決第三者委員会	実行責任者	新井田　智成	作成日	令和６年２月２３日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　苦情解決への対応体制の構築と円滑な苦情解決に努める	苦情解決に適切な対応を図り、入居者様及びご家族様の信頼に応えサービスの向上する

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	苦情解決担当者	ご意見を頂いた時に、直ちに解決策を検討する	適宜	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
苦情解決会議	適宜
苦情解決第三者委員会	１０月、３月

令和６年度活動計画書

委員会	キャリアパス委員会	実行責任者	田中　勇矢	作成日	令和 6 年 2 月 18 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　職員の育成制度の構築	新人・中途を含め全職員の育成制度を検討し、運用する。(経験年数や役職に応じた研修会の計画的実施)
②　育成手順書・マニュアルの作成	構築した育成制度を風化させずに、定期的に実施・振り返り行えるように手順書、マニュアルを作成する。
③　施設課題に基づいた研修会を企画し、実施する	随時、コアトレースに必要と思われる研修を抽出し、企画、講師の依頼、実施に取り組む

【具体的行動計画（実践するために何をするか)】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	委員	意見交換を行い、一年計画を立てる	上半期中	
②	委員	計画を立てた内容に応じて研修会の実施する	令和６年度中	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
キャリアパス委員会	毎月１回
勉強会・研修会の企画、運用	随時

令和６年度活動計画書

委員会	衛生委員会	実行責任者	藤田　ミ子	作成日	2 月 22 日

【令和６年度活動方針】

「人を活かし人を育てる」組織文化の構築を目指す。

仕事に対する姿勢や考え方、技術と知識の向上を目指し、職員研修を実践する。

学ぶこと、成長することを喜びとして前向きに取り組む。

【活動目標】

項目	ねらい
①　職員の健康診断	健康維持、異常の早期発見
②　コロナウイルス予防接種	感染防止
③　インフルエンザ予防接種	感染防止
④　特定業務健康診断	健康維持、異常の早期発見
⑤　ストレスチェック	職員のストレスの把握と健康管理

【具体的行動計画（実践するために何をするか）】

項目	だれが	どのように	いつまでに	実施結果と今後の展望
①	各自		5 月	
②	希望者	かかりつけ医の下	未定	
③	希望者	かかりつけ医の下	11 月	
④	夜勤従事者		11 月	
⑤	希望者	書式、pc を用いる	11 月	

【年間予定】

会議・行事・企画	開催時期
委員会	隔月